

実施事業の具体的説明

(1) 事業名 熊本近代史研究会創立 60 周年記念事業

(2) 目的

熊本近代史研究会は 1960 年 1 月に創立されたので 2020 年は創立 60 周年となる。

創立 60 周年にあたり共同研究「近代化と熊本の人物群像」は、地域社会との関連において「近代化」を考察し、新しい視角からの人物たちの研究として、日本社会の実像を解明する重要な手がかりを与えてくれるに違いない。

(3) 実施期日及び開始時刻

シンポジウム 令和 2 年 11 月 28 日（土） 午後 1 時～

記念論集出版 令和 3 年 3 月末

(4) 実施地 熊本市

(5) 開催場所 熊本国際交流会館 ホール

(6) 主催 熊本近代史研究会

(7) 後援 熊本日日新聞、RKK、TKU、KKT、KAB、FMK、FM791

(8) 協賛 一般社団法人くまもと文化振興会、NPO 法人平和と人権フォーラム、NPO 法人くまもと地域自治体研究所、熊本歴史学研究会、熊本歴史教育者協議会など 13 団体

(9) 助成 公益法人くまもと 21 ファンド、公益信託熊日文化スポーツ基金、熊本放送文化振興財団

(10) 事業の実施内容

シンポジウムについては、記念講演に福岡良明立命館大学教授を招聘。

熊本近代史研究会会員の報告は、以下の 4 名が行なった。

- ・堤 克彦
- ・内田敬介
- ・斎藤仁志
- ・小田憲郎

また、シンポジウム実行委員長は梅林誠爾（元熊本県立大学学長）が務め、総合司会も担当した。

その他、シンポジウムの司会は富田啓一郎が務めた。

『60 年のあゆみ』は当日までに間に合い、当日の資料とともに参加者全員に配布された。

記念論集は、熊本出版文化会館より令和 3 年 3 月 31 日に刊行（自費出版）された。

熊本近代史研究会創立 60 周年記念事業収入支出決算書

(1) 収入の部

項目	金額 (円)	備 考
自己負担金	900,000	
参加費	45,000	シンポジウム 一人 500 円× 90 名 (有料入場者数)
書籍売上げ	306,000	会員特価一冊 3000 円× 102 冊
助成金	1,150,000	21 ファンド (80 万円)、熊日文化スポーツ基金 (15 万円)、熊本放送 (20 万円)
寄付	95,000	木庭氏などより計 4 件
合 計	2,496,000	

(2) 支出の部

項目	金額 (円)	備 考
講師等謝礼	130,000	県外講師 1 名、パネリスト 4 名、司会 2 名
旅費・宿泊費	0	
会場借上げ費	31,600	国際交流会館ホール (付帯設備料を含む)
会場看板料	18,600	横吊下げ看板 6600 円、パネラー表示 12000 円
広報費	141,000	チラシ 8,000 枚 56000 円、熊日広告掲載 85000 円
当日配布資料作成費	20,000	200 部× 100 円
書籍(記念論集)作成費	1,450,000	300 冊
書籍(60 年史)作成費	480,000	400 冊 (無料で配布)
事務諸経費	205,446	通信費・郵便送料 131460 円 ・佐川急便送料 26400 円 会議会場使用料 29200 円 案内状・封筒等印刷費 6000 円 アルコールバンド等 11386 円、駐車場代 1000 円
会場受付役務費	18,000	3000 円× 6 名
予備費	0	
合 計	2,494,646	

※ (1)－(2) 剰余は 1354 円となるが、これは熊本近代史研究会の財源に入れたい。

近代化と 熊本の人物群像

2020 年

11 / 28 土

13:30 ~
開会

会費
500 円

熊本市国際交流会館 ホール

(熊本市中央区花畑町 4-18 ☎ 096-359-2020)

記念講演

福間 良明 氏

(立命館大学産業社会学部教授)

「地域社会と教養文化の戦後史」



福間 良明 (ふくま・よしあき)

1969 年、熊本市生まれ。熊本高校卒、京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了。京都大学博士(人間・環境学)。出版社勤務、香川大学経済学部准教授を経て、現在、立命館大学産業社会学部教授。専門は、歴史社会学・メディア史。2016～2019 年、「くまにち論壇」(『熊本日日新聞』)執筆。

シンポジウム

司会 / 富田啓一郎 (熊本近代史研究会会員)

パネリスト ・ 内田 敬介 (みさと土といのち協同農園代表・農民運動研究家)

・ 小田 憲郎 (「熊本民主文学」編集責任者)

・ 堤 克彦 (文学博士、熊本郷土史譚研究所・熊本横井小楠研究所所長)

・ 齋藤 仁志 (立命館大学博士課程)

主催 熊本近代史研究会 (代表・梅林誠爾 [熊本県立大学元学長] 連絡先 ☎ 090-6771-4880 [廣島])

協賛 一般社団法人くまもと文化振興会 / NPO 法人平和と人権フォーラム / NPO 法人くまもと地域自治体研究所 / 熊本歴史学研究会 / 熊本県歴史教育者協議会 / 熊本・徳永直の会 / 平和憲法を活かす熊本県民の会 / 社会主義協会熊本県支部 / 治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟熊本県本部 / 熊本革新懇 / 全日本年金者組合熊本県本部 / 熊本県高等学校教職員組合 / 熊本郷土史譚研究所 (順不同)

助成 公益信託くまもと 21 ファンド / 公益信託熊日文化スポーツ基金 / 熊本放送文化振興財団

後援 熊本日日新聞社 / RKK / KAB / KKT / TKU / FMK / FM791 (順不同)

熊本近代史研究会創立 60 周年記念シンポジウム

近代化と熊本の人物群像

記念講演

福岡 良明 氏

立命館大学産業社会学部教授。熊本市生まれ。専門は歴史社会学・メディア史。2016～2019年、「くまにち論壇」(『熊本日日新聞』)執筆。

「地域社会と教養文化の戦後史」

シンポジウム

パネリスト

司会／富田啓一郎

(熊本近代史研究会会長)

・内田 敬介

(みさととといのち協同農園代表・農民運動研究者)

・小田 憲郎

(『熊本民主文学』編集責任者)

・提 克彦

(文学博士、熊本郷土史譚研究所・熊本横井小楠研究所所長)

・齋藤 仁志

(立命館大学博士課程)

11

2020年

28日

熊本市国際交流会館 ホール

(熊本市中央区花畑町 4-18 ☎ 096-359-2020)

13:30～開会 会費 500円

【主催】熊本近代史研究会 (連絡先：事務局 ☎096-354-8201)

「教養」の価値観たどる

立命館大・福間教授が講演

熊本市

熊本近代史研究会（梅林誠爾会長）は28日、熊本市中央区の市国際交流会館で創立60周年記念シンポジウムを開いた。立命館大産業社会学部の福間良明教授（51）は歴史社会

学、熊本市出身が「地域社会と教養文化の戦後史」と題して講演し、約100人が聴いた。

福間教授は、教養に対する意識の変化を、定時制高校への進学を例に説明。「1960年頃は、義務教育を終えてすぐに就職する『勤労青年』は、人文系の読書を通じて人格を磨くという教養主義的な価値観を抱いていた。農村では青年団や

青年学級、都市部では定時制高校が彼らの受け皿になった」と解説した。

定時制の生徒数は60年代半ばまで50万人程度を維持していたが、その後減少していく。



「地域社会と教養文化の戦後史」と題して講演した福間良明教授
＝熊本市中央区

福間教授は「70年代以降、エリートでなくてもも人文系の知を模索しなければならぬという価値規範が喪失していった」と背景を語った。

同研究会は60年1月、熊本女子大（現県立大）に本部を置き発足した。シンポジウムでは会員4人の研究発表もあった。

（園田琢磨）

創立 60 周年記念シンポジウム

資料集

熊本近代史研究会

記念講演 講師紹介

立命館大学教授 ^{ふくま よしあき} 福間良明 先生

<経歴>

1969年熊本市生まれ。熊本高校卒業。
京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了。京都大学博士（人間・環境学）。
出版社勤務、香川大学経済学部准教授を経て、現在、立命館大学産業社会学部教授。
専攻は歴史社会学・メディア史。

<主な著書、受賞作品>

『「反戦」のメディア史——戦後日本における世論と輿論の拮抗』世界思想社、2006年

○ 内川芳美記念マス・コミュニケーション学会賞受賞。

『「戦争体験」の戦後史——世代・教養・イデオロギー』中公新書、2009年

『焦土の記憶——沖縄・広島・長崎に映る戦後』新曜社、2011年。

『「戦跡」の戦後史——せめぎあう遺構とモニュメント』岩波現代全書、2015年。

『「働く青年」と教養の戦後史——「人生雑誌」と読者のゆくえ』筑摩選書、2017年。

○ サントリー学芸賞受賞。

『「勤労青年」の教養文化史』岩波新書、2020年。

『戦後日本、記憶の力学——「継承という断絶」と無難さの政治学』作品社、2020年。

<「くまにち論壇」執筆2016年～2019年>

2016. 4. 24 中立に名を借りた異論の排除

2016. 5. 29 改憲論に根差す優等生意識

2016. 8. 28 戦没者追悼の「崇高さ」を考える

2019. 3. 24 戦後のひずみ噴出した「平成」

他に、熊日インタビュー・戦後75年「継承」を問う（上）

忘却に目を向ける 記憶覆い隠す「上澄み」

等々

—— ご著書『「勤労青年」の教養文化史』著者紹介などから ——

熊本近研

会報

第587号 2020年12月1日

発行／熊本近代史研究会

〒860-0051 熊本市西区二本木3丁目1-28

熊本出版文化会館内(廣島正)

☎096(354)8201 FAX 096(354)8234

郵便振替 01940-9-531

12月例会のご案内

報告 森 健一氏

「戦後史のなかの国鉄闘争」

日時 12月12日(土) 午後2時より

会場 熊本県民交流館パレア 第9会議室

1月 檜原 / 2月以降未定

◆「会報」原稿を募集しています!

送り先(会報編集部)

〒862-0949 熊本市中央区国府3-19-6

富田啓一郎

☎096(366)8547

CONTENTS

● 11月例会報告

谷川健一 —— 「民俗学・地名学・作家・歌人」

その多彩な生涯について

久米雅章 …………… 2

● くまもと近代史譚 No.138

新進「横井小楠」学(23)

堤 克彦 …………… 17



熊本近代史研究会創立60周年記念シンポジウムを開催

2020年11月28日午後1時30分より熊本市国際交流会館ホールにおいて記念シンポジウムを開催した。まず、記念講演として立命館大学教授の福間良明さん(熊本出身)が「地域社会と教養文化の戦後史」と題して講演した。続いて富田啓一郎さんの司会の下、会員4名のパネリストによる「近代化と熊本の人物群像」のシンポジウムに這入った。福間さんも発言され、予定時刻いっぱいいっぱいの終了であった。